

第2章

土地利用の理念

尾根幹線沿道では、4車線化及び公的賃貸住宅の再生などに伴う創出用地活用を契機に、広域ポテンシャルの取込みによる次世代を見据えた産業・業務、商業機能の誘致や育成を図り、多摩ニュータウンにおける新たな付加価値を創造する場の形成を目指します。

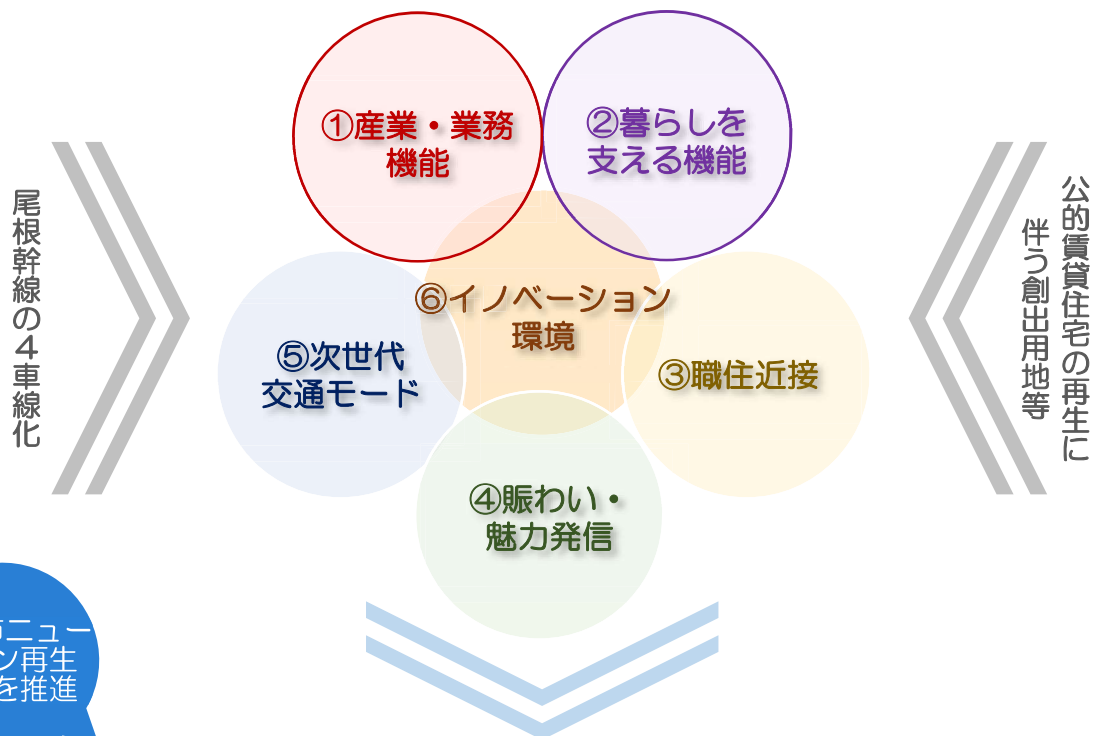
そのために、多摩ニュータウンを支える既存の周辺拠点や周辺市とも連携・補完を図りながら、多摩ニュータウンの特色や沿道ポテンシャルを活かした「産業・業務機能」「暮らしを支える機能」を中心に、「賑わい・魅力発信」、「職住近接の場の形成」、「次世代交通モードへの対応」も含めた多様な機能を導入します。

これらの機能導入に伴い新たな主体の参画機会も増大することから、多様な主体が連携・融合する環境を整える「イノベーション環境」を中核に据えることで、新たな付加価値を創造し、多摩ニュータウンの再生を推進します。

■土地利用の理念

土地利用
の理念

広域ポテンシャルの取込みによる次世代を見据えた
産業・業務、商業機能の誘致や育成を図り、
多摩ニュータウンにおける新たな付加価値を創造する場



“再活性化＋持続化”による多摩ニュータウンの再生

- ① まちの持続化
- ② 若い世帯の流入と居住継続
- ③ 活力の集約と循環

コラム: 将来の南多摩尾根幹線沿道のまちづくりアイデア

- 南多摩尾根幹線沿道の土地利用方針策定にむけて、市民をはじめ様々な立場の方から、将来の南多摩尾根幹線沿道のまちづくりアイデアを募集しました。
- 尾根幹線のよさとしては豊かな自然、広域交通網、歩車分離、広い道路幅員、既存の沿道施設、周辺の農産物生産地等が挙げられました。
- 一方で、課題としては魅力的な店が少ない、好奇心を刺激する公園がない、農作業を目にすることがない、公共交通が弱い、既存の公民館等は不自由があるなどが挙げられ、沿道に限らず多摩ニュータウン全般の課題解決の場として有効活用を図る提案が数多くありました。
- 提案内容としては、周囲の豊かな緑・農的環境を活かした新たなつながりを育む場づくりを核に、様々な機能を複合させることで、多摩ニュータウンの魅力を高める沿道へ転換する方向性が共通項となりました。
- 下記に、将来像アイデアを概念的にとりまとめました。これらのアイデアは今後の土地利用を検討する上で、地域ニーズの一つとして参考とします。

■応募方法：インターネット及び郵送・FAX等による受付

■募集期間：令和2年12月20日～令和3年2月3日まで

■応募総数：41件

■アイデア例1



■アイデア例2

